

2025年度 日本の持続可能な酪農研究会

～国内外の“サステナ”を知り現場での実践につなげるために～

プログラム

2026年3月2日（月）10:30 - 19:00

（於：アルカディア市ヶ谷）

（後援：農林水産省）

開会挨拶

❖ 講演会 (10:35 - 14:25) (敬称略)

第一部

- | | |
|-------|--|
| 講 演 ① | 演題 搾乳の自動化と酪農の未来
演者 森田 茂（酪農学園大学 教授） |
| 講 演 ② | 演題 Animal Welfare に関する国際的な状況—IIDF サミット 2025 から
演者 近藤 誠司（北海道大学 名誉教授） |
| 講 演 ③ | 演題 飼料自給構造の国際比較—IFCN データが示す持続可能性の視点
演者 日向 貴久（酪農学園大学 教授） |
| 講 演 ④ | 演題 “サステナ”で変わる世界の酪農乳業～GDP の取り組みと日本へのメッセージ
演者 木ノ内 俊（J ミルク） |

（昼食：12:20-13:00）

第二部

- | | |
|-------|---|
| 出席報告 | 演題 IDF 酪農家円卓会議
演者 栗原 丈治（J ミルク） |
| 事例報告① | 演題 酪農を持続可能に～Meiji Dairy Advisory（メイジ・ディアリーアドバイザリー）による経営支援～
演者 木村 康行（(株)明治） |
| 事例報告② | 演題 酪農現場から進める GHG 削減への道～GHG 算定シートを活用した排出源の見える化～
演者 内藤 健憲（森永乳業（株）） |
| 事例報告③ | 演題 「リジエネラティブな酪農とは」～北海道の事例より～
演者 越智 成東（雪印メグミルク（株）） |
| 事例報告④ | 演題 良質な牛乳と高い生産力を生み出す酪農経営に向けて
演者 丸山 純（酪農家（朝霧メイプルファーム）） |
| 活動報告 | 演題 J ミルクにおけるアニマルウェルフェアへの取り組み
演者 関 芳和（J ミルク） |

✧ 討論会 (14:45 - 16:45)

テーマ：「日本の持続可能な酪農をどう進めるか」

モデレーター：生源寺 眞一（東京大学・福島大学 名誉教授）

清水池 義治（北海道大学 准教授）

パネリスト：上記の講演者及び報告者

第一部 「海外」の取り組みから“サステナ”を知り酪農現場での実践につなげる

第二部 「国内」の取り組みから“サステナ”を知り酪農現場での実践につなげる

閉会挨拶

✧ 交流会 (17:30 - 19:00)